



2016年1月7日

株式会社 ヴィンクス

ヴィンクス、日本マイクロソフトと協業し Microsoft Azure 環境下でのクラウドサービスを拡充 ～流通・サービス業におけるシステムのクラウド環境化への移行を推進～

流通・サービス業向けパッケージ・ソフトウェア開発などを行う株式会社ヴィンクス（本社：大阪市北区、代表者：代表取締役 社長執行役員 藤田 俊哉、以下「ヴィンクス」という）は、日本マイクロソフト株式会社（本社：東京都港区、代表者：代表執行役 社長 平野 拓也、以下「日本マイクロソフト」という）との間で、2016年1月7日に流通・サービス業に対するクラウドサービスの拡大に向け、日本マイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム「Microsoft Azure（※1）」への取り組み強化と導入推進に関する協業計画について合意いたしました。

ヴィンクスは、ソリューションビジネスに精通した総合情報サービス企業であり、これまで大手スーパーマーケットやドラッグストアなど多くの流通・サービス業に対し、POSシステム、MDシステム、CRMシステム、Eコマースシステムなどの基幹業務システムを提供し、ITサポートサービスなど流通・サービス業向けに特化した高品質なワンストップサービスを国内外で展開しております。

一方、日本マイクロソフトは、クラウドインフラストラクチャ、アプリケーションプラットフォーム、クラウドストレージに関するクラウドサービスを提供しているグローバル企業であり、同社が提供するオープン且つ柔軟なプラットフォームを、これまで多くの開発者やITプロフェッショナルに信頼され利用されております。また、柔軟性に富んだスケラビリティと安定した信頼性を併せ持つ同社のクラウドサービスは高い評価を受けており、国内外を問わず多くの企業に採用されております。

ヴィンクスは、「CoMoBiS®（※2）」のコンセプトの元、これまで長年に渡り培ってきた流通ITに関する豊富な経験、実績、及びノウハウを活かし、ソリューションパッケージのクラウドサービス化に注力してまいりました。

日本マイクロソフトとの協業により、Microsoft Azure 環境下で、POSシステム、MDシステム、ITサポートサービスなど、付加価値のあるクラウドサービスを提供してまいります。

今回の日本マイクロソフトとの協業が、相互の事業規模拡大に貢献し、企業価値の一層の向上につながるものと確信しております。

尚、本協業に伴う当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

（※1）Microsoft Azure

マイクロソフトが提供する分析、コンピューティング、データベース、モバイル、ネットワークなどを統合したクラウド プラットフォーム（PaaS/IaaS）であり、高い可用性、柔軟性ととも、安心して低コストでのサービス提供を可能にしています。

（※2）CoMoBiS（Cloud Mobile Store System）

スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスを活用した次世代型店舗システムのことをいいます。

流通・サービス業向けクラウド&モバイルサービスであり、新たな流通システムの提供を実現するコンセプトです。

この度のMicrosoft Azureへの対応について、日本マイクロソフトより以下のコメントをいただいております。

■エンドースメント（推奨文）のご紹介

この度のヴィンクス様による流通・サービス業におけるクラウド領域での取り組みの拡大を心より歓迎いたします。

Microsoft Azure の持つ様々な機能がヴィンクス様の強みである流通・サービス業のお客様向けのPOSや自動発注システムなどに活用されることにより、お客様のビジネスに更なる柔軟性を生み出し、日本の流通・サービス業におけるビジネスが国内だけでなく、海外市場においても加速されていくことを期待しております。

今後も日本マイクロソフトは、ヴィンクス様との協業を通じ、流通・サービス業のお客様に対し、クラウドサービスの活用によるビジネスの変革を支援してまいります。

日本マイクロソフト株式会社
パートナーセールス統括本部 業務執行役員 統括本部長
佐藤 恭平

当リリースに関する問合せ先

株式会社ヴィンクス

企画本部 新規事業企画室

TEL : 03-5209-7373

お問合せフォーム : https://www.vinx.co.jp/contact/form_eigyof.html

以 上